

編集委員が  
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

パティシエさんに伺いました

- Q** このお仕事を目指したきっかけは。
- A** 小さい頃から、クッキーを焼いたり、ケーキを作ったりしてしていました。専門学校を出た後、都内のホテルやフランスで修業し、現在に至ります。
- Q** このお仕事のやりがいは。
- A** お客さんと近い距離で、喜んでもらっている姿や笑顔を見られることです。
- Q** 大変だと感じることは。
- A** クリスマスなど忙しいシーズンだと、朝早くから夜遅くまで体力的に辛いときもあります。
- Q** パティシエは子どもたちに人気の高い職業ですが、目指している子たちへ一言を。
- A** いいイメージがあるかもしれませんが、大変な面もあります。1年、2年と我慢しなければな

らないこともあります。そこを超えたところにやりがいを感じることができるはずです。



ふじみ野の中島さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
 市議会の会議録も見られます。  
 政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



9月定例会の傍聴者は74人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の  
開会予定: **12月1日** 午前9:30~

請願締切予定: **11月21日** 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	西 和彦	副委員長	川畑 京子
委員	島田 典朗	委員	加藤 恵一
委員	渡辺 大	委員	山田 敏夫
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書いてくれた人

福岡中3年 小林 咲さん



デザインを考えているときに、夕焼け空をバックに富士山が見えたことを思い出しました。近代的な市街地と、レトロな雰囲気が残る街並みが共存するこの市が私は大好きです。昔の面影を色濃く残しつつ、日々進化していくことを私は強く願っています。

編集後記

9月議会では、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進するための、ふじみ野市最上位計画を審議しました。人口減少、少子高齢化を見据え、新たな時代に対応したふじみ野市の将来構想です。

さて、敬老の日に発表した日本の人口推計のうち、90歳以上は200万人を突破、65歳以上は3514万人となり、元気に働く高齢者は770万人で過去最多となりました。

ふじみ野市では現在、比較的若い世代の転入が増え、少子高齢化はゆっくりと進んでいるようです。変化の激しい時代にあって、子どもから高齢者まで、誰もが健やかに暮らせるまちの実現に向け、明るい未来予想図を描いていきたいです。

(川畑 京子)